

# エンジニアパーク

# Engineer



八木 敏雄 農業部門（農業土木） 勤務先：(株)ドボク管理

TEL (0157)26-3321 FAX (0157)22-7508 E-mail : yagi@dobokukanri.co.jp

私は、オホーツク海に面する斜里郡西部の小清水町に生まれ、北見市内の現会社に20年勤務し、現在43歳になりました。1997年（平成9年）に札幌支店へ約3年間の単身赴任以来、昨年までは長期出張が続きましたが、なんとか今年は自宅のある北見に落ち着くことができそう？ です。

さて、平成15年度は私にとって「防災」を強く意識する年となりました。昨年は、仕事の関係で十勝管内に長期滞在（6月～12月）しておりましたが、この期間は周知のとおり、8月に台風10号、そして9月には十勝沖地震と、かつて経験したことのない大規模な自然災害に2度も遭遇しました。この災害で、管内では人命を含め多数の被害が発生するなど、大変残念な爪痕を残しました。また、北見市内では今年の2月、台風並に発達した低気圧の影響で豪雪災害にも見舞われ、交通機関が完全に麻痺するという、いわゆる「陸の孤島」を体験しました。

これらの災害は、道東における農業でも去年の被災状況を深刻なものとして受け止め、防災に関連する高い技術力が要求されつつあります。このように社会の防災意識が高まる中、この1年間での身近な経験を機会に、土木の技術者として今後防災技術開発の一端を携わることにより、より努力していきたいと考えております。



次号は、紀本則晃さん（農業部門）



山根 正裕 建設部門（河川、砂防及び海岸）／総合技術監理部門

勤務先：(株)ドーコン TEL (011)801-1530 FAX (011)801-1531

1990年に入社し、今年でもう15年目になりますが、振り返るといろいろなことが思い出されます。

私が入社した時期はバブル景気が最盛期のころで、不動産やゴルフ会員権の相場は高騰し、学生の就職率においてはほぼ100%という時代でした。しかし、バブル崩壊に伴う不景気によって社会情勢は大きく急変し、この間、証券会社や銀行、特に建設業界では大手ゼネコンなどが破たんするなど、当時には想像もしなかった時代になっています。

また、私が携わっている河川事業においても、昔は河川法では「治水・利水」という大きな2本柱であったものが、平成9年の河川法の改正に伴い「環境」という面も重要視されるなど、公共事業に求められるものも大きく変化しています。

このように、ここ十数年の間に社会情勢や公共事業への期待は大きく変わり、今後もさらに変化していくことが予想されます。そのためにも、日頃から5年後・10年後のことを考えながら行動することが必要だと実感しております。また、将来に対する危機意識を持ち、今のうちからリスク管理を実践していくことが重要なことと考えています。



次号は、打田克也さん（建設部門）